

自動ログインおよびアプリケーションの起動方法

版	日付	2016/05/20	記述	4, 5を加筆			
3	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博	確認	承認	
版	日付	2016/05/20	記述	3を加筆訂正			
2	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博	確認	承認	
版	日付	2016/05/19	記述	新規発行			
1	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博	確認	承認	

表題 自動ログインおよびアプリケーションの起動方法 No <u>版 3</u> ヘージ 1/6



目次

É	動ログインおよびアプリケーションの起動方法	1
1	概要	3
2	graphical-user.target 状態での自動ログインと起動	3
3	multi-user.target 状態からの自動ログインとXの起動	5
4	タイトルバーを消去する方法	6
5	マウスカーソル/ポインタを消す方法	6

士 昭	自動ログインおよびアプリケーションの起動方法		版	3
衣退		NO	ヽ゚゠シ゛	2/6



1 概要

本稿は、RedHawk7.0における自動ログインとアプリケーションの起動方法について記述する。

2 graphical-user. target 状態での自動ログインと起動

- ① /etc/gdm/custom. confの daemon セクションに以下の 3 行を追加する。
 - [daemon] AutomaticLoginEnable=true AutomaticLogin=root (ユーザ名を root として、自動ログインさせたい場合)

② 起動するアプリケーションをデスクトップメニューから下記手順で登録する。

日本語環境の場合

「アプリケーション」-> 「システムツール」->「自動起動するアプリケーション」 英語環境の場合

「Apprication」->「System Tools」->「Startup Applications」を選択する。

③ 選択すると、

「自動起動するアプリケーションの設定画面」

あるいは、

「Startup Applications Preferences」

のポップアップ画面が現れるので、[Add]あるいは[**追加**]ボタンをクリックして、必要な情報を設定 する。

名前 [XTERM] コマンド[/usr/bin/xterm] 説明 [試験]

Name [XTERM] Command[/usr/bin/xterm] Comment[test]

主郎	白動ログノンホトバマプリケーションのお動ナオ	Ne	版	3
衣起	自動ログインおよびアンリケーションの起動方法	NO	ヽ゚ーシ゛	3/6



設定された情報は、ホームディレクトリ以下の.config/autostart ディレクトリにファイルとして作成される。

例えば、/usr/bin/xterm を自動起動させると xterm. desktop が以下のように作成される。

[Desktop Entry] Type=Application Exec=/usr/bin/xterm Hidden=false NoDisplay=false X-GNOME-Autostart-enabled=true Name[ja_JP]=XTERM Name=XTERM Comment[ja_JP]=試験

[Desktop Entry] Type=Application Exec=/usr/bin/xterm Hidden=false NoDisplay=false X-GNOME-Autostart-enabled=true Name[en_US]=XTERM Name=XTERM Comment[en_US]=test Comment=test

再起動すると、xterm が自動起動する。

表題	自動ログインおよびアプリケーションの起動方法	Νο	版	3
			ヽ゚ーシ゛	4/6



```
3 multi-user. target 状態からの自動ログインと X の起動
```

- ① 以下の自動コンソールログイン手順を行う。
 - 1. オリジナルの getty@tty1.service シンボリックリンクを削除
 - # rm /etc/systemd/system/getty.target.wants/getty@tty1.service
 - 2. getty@. service ファイルを getty@tty1. service としてコピーする。
 - # cp /lib/systemd/system/getty@.service /etc/systemd/system/getty@tty1.service
 - 3. コピーした getty@tty1. service ファイルの Service 部分を以下のように編集する(赤字を

追加)

```
[Service]
```

```
...
ExecStart=-/sbin/agetty --autologin root --noclear %I
```

4. 編集したファイルをシンボリックリンク getty.target.wantsとする
 # ln -s /etc/systemd/system/getty@tty1.service ¥

/etc/systemd/system/getty.target.wants/getty@tty1.service

② 下記コマンドを実行しマルチユーザーモードに設定する。

systemctl set-default multi-user.target

③ /root/.bashrc に下記を記述する。

```
#-----
```

④ /root/. xinitrc を作成しウィンドウマネージャやアプリ起動用のシェルを記述する。

例:

```
/usr/bin/xterm
```

- ※ 作成しない場合には、ディフォルトのウィンドウマネージャ(gdm)が起動するので前節の graphical-user.target 状態と同様の処理になる。。
- ⑤ reboot すると root としてログインし、④で定義したシェルスクリプトを自動実行する。

丰昭	表題 自動ログインおよびアプリケーションの起動方法	N	版	3
衣起		INO	ヽ゚ーシ゛	5/6



4 タイトルバーを消去する方法

/usr/share/themes/Adwaita/metacity-1/metacity-theme-3.xml を編集する

- ① frame_geometry name="max" の行を検索し、 frame_geometry name="max" の後ろに has_title="false" を追加する。
- ② <frame_geometry name="max" ... </frame_geometry> のセクションの中の <distance name="title_vertical_pad" value="8"/>

を

<distance name="title_vertical_pad" value="0"/>

に変更する

③ Alt+F2 を押し、r,を入力し Enter/Return を押すと変更がアプライされる。

メニューから最大化すると、GNOMEのメニュー以外の部分はアプリケーションで使用可能になる。

5マウスカーソル/ポインタを消す方法

"3 multi-user.target 状態からの自動ログインと Xの起動 "の起動時に

/usr/bin/startx -- -nocursor

を指定する。

表題	白動口ダインホトガマプリケーションの扫動大法	Ne	版	3
衣起	自動ログインおよびアプリグージョンの起動力法	NO	ヽ゚ージ	6/6